

平成25年度会計別決算額

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	8,002,746	7,235,067	767,679	
国民健康保険特別会計	2,052,297	1,901,804	150,493	
農業集落排水事業特別会計	232,875	221,397	11,478	
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	164,081	162,025	2,056	
介護保険特別会計	保険事業勘定	1,233,681	1,178,174	55,507
	サービス事業勘定	9,877	7,552	2,325
公共下水道事業特別会計	277,159	270,245	6,914	
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	130,005	127,086	2,919	
宅地造成事業特別会計	111	23	88	
後期高齢者医療特別会計	136,582	125,335	11,247	
計	12,239,414	11,228,708	1,010,706	

平成25年度決算審査意見(抜粋)

監査委員 榎谷 力
監査委員 杉田貞一郎



榎谷 力代表監査委員

本町の財政構造については、比較的健全に運営されており、第5次芳賀町振興計画の3年度目として、重点施策の着実な実行を図りながら、各種事務・事業等歳出につきましても、計数的な過誤もなく概ね誠実な執行が行われていると認識いたしました。

本町の平成25年度単年度財政力指数は「0.976」、健全化判断比率におきましては、実質公債費比率7.1%、その他の判断比率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は72.9%で前年より1.1ポイント上昇しております。

財政の根幹をなす町税については、国の経済政策より景気が回復基調に転じてきたのか、前年度より5.1%増の約45億1,248万円が収納されました。しかし、増加した要因は法人町民税の伸びによるもので、中小企業や地域経済まで景気が回復しているか不透明のなか、予断を許

さない状況です。少子高齢化社会の進展に伴い、財源確保がますます厳しい状況が予想されますので、納税者である町民との共通認識を持ち、効果的で堅実な財政運営をお願いいたします。

まず、借金である本町の地方債の残高ですが、年々計画的な減少が見られ、一般会計と3つの特別会計で、61億6,340万円です。執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられます。引き続き長期的な視野に立ち、健全な運営に併せ、後世への負担軽減をお願いいたします。

特に重点施策の「学校教育の充実」、「健康づくりの推進」、「計画的なまちづくりの推進」、「防災・消防機能の向上」について、事業



書類審査

内容等を確認した結果、良好に計画どおり執行されてきました。ただし、各種団体補助金ですが、補助金等を交付するだけでなく、目的のとおりに使用されているか、実績及び効果等についても検証されたい。

結びに、昨年の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思います。平成26年度は不交付団体になりましたが、決して財政的に余裕がうまれることでは無い事を認識され、町長をはじめ、執行部の皆さんが歳入の確保に努め、経済的で効果的かつ効果的な事務事業の執行を行っていただけるようお願いいたします。



現地調査

一般会計決算

質疑 石川 保議員 投資的経費がマイナスになっているが、将来を考えると建設等に投資すべきでないか。

総務企画部長 決算額はマイナスになったが、補正予算で次年度繰越分が7億2千万ほどあり、平成25年度中に工事が完了していればプラスになる。投資的経費は長期計画に沿って実施している。

質疑 石川 保議員 多少借金をしても効果的に投資すべきではないか。

町長 町では振興計画に基づいて計画的に投資してきた。事業は必要なものをやるということを考えている。道路整備については、ある程度一定規模でやるよう考えている。起債についても最小限に止めたい。

質疑 石川 保議員 芳賀チャネル制作委託料が増加したが、契約内容は。

総務企画部長 新たな番組を増やし、番組内容の充実を図った。
質疑 石川 保議員 番組の制作は、どこまで職員がやるのか。また機材類の整備、職員の時間

外勤務、制作室等検討すべきことがあるかどうか考えているのか。

町長 現在模索中です。制作主体は企画課ですが、委託出来るものは委託し、番組内容の充実を図っていきたい。

質疑 石川 保議員 芳賀チャネルで地震発生等災害時にテロップ表示はできるのか。

総務企画部長 情報無線の整備に伴い、データを瞬時に画面に流せるように改正を加えていきたい。

質疑 増測さつき議員 唐桶宗山公園のローラー滑り台が立ち入り禁止になっている。25年度に修繕工事が行われたのに何故か。

住民生活部長 先週、車の事故があり、破損しました。保険等での修繕で対応しています。

質疑 増測さつき議員 学童保育の利用者が増加して、施設等充実を図るよう検討中と25年度と同じように記載してあるが、具体的に何をどうする検討をしたのか。

こども育成課長 トレーニングセンターの施設が狭いということ。で移転等の検討や空きスペースに遊び場を作った。根本的な解決に至らないかもしれないが、施設

の充実を検討した。

質疑 増測さつき議員 町民

税還付加算金の未払い金が発生している。と報道があったが、芳賀町はあるのか。

税務課長 還付加算金の未払いはありません。

質疑 北條 勲議員 マネジメントシートが予算と決算とではことなっている。

総務企画部長 マネジメントシートはあくまでも補助資料でベースは決算書です。

質疑 水沼 孝夫議員 ひばりタクシーの利用者が年々減少傾向である。原因と対策は。

総務企画部長 小学生の人数減と女性ドライバーの増加が考えられる。今後引き続き広報・芳賀チャンネル等でPRしていきたい。

質疑 水沼 孝夫議員 町有バス管理費が毎年増加している理由は。

総務課長 運行委託料が増加したのに伴い管理費が上がりました。

質疑 水沼 孝夫議員 防犯灯をLEDに更新しているが、電気料金減額の効果等が見えない。LED更新は一体型ではなく電球が交換できるタイプにする等経済性を考えて検討しては。

総務課長 電気料金が上がっていますので、このままいくと額が上がります。平成27年度までに町内全域を計画的に更新する予定です。

質疑 市川 宗司議員 経常収支比率が84%ということ。財政が硬直化してきたと監査委員の報告がありました。固定経費を減らす手立てはあるのか。

総務企画部長 経常収支は人件費、扶助費といった必要経費であり、これを削減するのは難しいところである。ただ率の出し方として税が増収になれば数値が変わってきますので、景気の動向により、収納率が上がれば経常収支比率も違ってくる。

質疑 岩村 治雄議員 生きがいサロンについて延参加人数が減少傾向にある。今後の対策はあるのか。

高齢者支援課長 平成25年度は3カ所の送迎を社会福祉協議会に委託していたが、今年度から2カ所増やし、より多くの方が参加出来るようにした。

質疑 岩村 治雄議員 地域でボランティア等の希望もあるので、人材を活用するなどして、地域公民館でサロンを開催する考えはないか。
高齢者支援課長 地域公民館は

住民の方にとって身近な場所だと思っているので、サロンの実施等考えていきたい。

質疑 小林 一男議員 職員の人事評価をして勤勉手当に反映しているのか。

総務課長 平成25年度は係長まで行い勤勉手当に反映しました。

質疑 小林 俊夫議員 公共

下水道事業工事の進捗状況は。
建設産業部長 認可区域面積105ヘクタールの内66.3ヘクタール完了している。

質疑 小林 俊夫議員 何年かかるか。
建設産業部長 事業の長期計画を立てていないので、現時点ではわかりません。

